

COVID-19 に関する一私見

予防(ワクチン)と治療(重症化阻止)について私見を述べます。

A) 予防について

ワクチンの副反応は次の3つに大別できます。

- 1) 急性のアナフィラキシー、
- 2) 亜急性の自己免疫病(ギラン・バレー症候群など)、
- 3) 慢性のADE(抗体依存性感染増強)

1) については言及しません。

2) の自己免疫病の発症には複雑な遺伝子型が影響します。個人差や民族差があるのです。主に日本で頻発した子宮頸がんワクチンの副反応は日本人に多い遺伝子型に関係があるという研究報告もあります。つまり副反応の種類や発生頻度は民族によって異なるのです。日本人を対象とした治験データが欲しいところです。

3) のADEは悪性の抗体で発生します。このような抗体がワクチン接種の結果として出来てくると、逆に感染を悪化させてしまいます。実際、デング熱などに対する一部のワクチン開発はこれが原因で中止となりました。

このようにワクチン開発は単純なものではありません。

B) 治療について

重症化を阻止して死亡率をインフルエンザ並みに下げることができれば、医療や社会活動の正常化が進みます。現在、いくつかの既存薬にそのような効果があることが提唱されています。しかし、該当薬の多くは特許が切れており、多額の投資をして治験をしても、すぐに他社から真似をされると危惧する企業は多いようです。国にはこのような治験を支援するシステムを大幅に拡充して頂きたいと切望します。

最後に、本ウイルスは発症前0.7日に感染力のピークがあります。自分自身や会話の相手が発症前0.7日であるという前提で行動しましょう。

2021年2月8日
埼玉医大医学部免疫学
教授
松下 祥